

「新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要」の刊行にあたって

このたび新潟市美術館と新潟市新津美術館は共同で研究紀要を刊行することにいたしました。

新潟市美術館は1985年の開館以来今日まで、独自の研究紀要を持っておりませんでした。また新潟市新津美術館は、1997年新津市美術館として開館し、2005年新潟市と新津市との合併により新潟市立の美術館となりましたが、同様に研究紀要を発行してはおりませんでした。当然のことながら、両館とも地域の美術や美術家について基礎的な調査研究活動を行い、それをもとに展覧会企画を進め、種々の事業を遂行してきました。但し、残念なことに調査研究の成果をまとめた形で世に問うことをしてこなかったことも事実です。

そうした反省に立ち、このたびの研究紀要の刊行に到った次第です。それは美術館を運営していく上で調査研究活動がその根幹にかかわることであることを改めて確認し、外に向かって発信することにもなるでしょう。新潟市美術館と新潟市新津美術館は政令市にふさわしい美術館を目指し、種々の事業やサービスにおける連携を模索しておりますが、共通の紀要の発行は連携のひとつのかたちにはかなりません。

紀要には、各学芸員の専門とする研究領域を反映した論考、収蔵品や地域の作家についての詳細な調査報告、企画展実施の過程で明らかになった新たな知見の紹介やより深められた論考、教育プログラムの日常的な実践等に基づくミュージオロジーに関わる報告など、多様な内容の掲載が考えられます。もちろん、掲載にあたっては各論考のレベルや内容の慎重な吟味が必要なことはいうまでもありません。そして、なによりも美術館という現場でなければ語りえないような実践的な研究であって欲しいと考えます。ささやかな一歩ですが、この研究紀要の発行が両館の学芸員の切磋琢磨を招来し、美術館活動の一層のレベルアップと充実として、市民の皆さまに還元されることを願ってやみません。

平成 25 年 3 月

新潟市美術館

館長 塩田 純一

新潟市新津美術館

館長 横山 秀樹

新潟市美術館・新潟市新津美術館研究紀要 第1号 (平成24年度)
Bulletin of Niigata City Art Museum & Niitsu Art Museum No.1

発行日 / 2013年3月25日

編集・発行 / 新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL.025-223-1622 FAX.025-228-3051

印刷 / 株式会社 北都

©2013 新潟市美術館・新潟市新津美術館

ISSN 2187-6770